会報

No.210
2026.10

一般社団法人　北海道電業協会



会　報
2026. 10
No.210

目　　次

巻頭言「道有建築物の整備における建築局の取り組み」
北海道建設部建築局長　清　水　浩　史……1
就任ご挨拶
エクシオグループ株式会社　執行役員北海道支店長　関　井　　悟
北札幌電設株式会社　代表取締役社長　疊　　啓　介
株式会社トーエネック北海道支社　支社長　工　藤　貴　浩…2～3
令和８年度 安 全 大 会 ……4
令和８年度 電気施設設備見学会 ……5
シーケンス制御の基礎【実技】講習会……6
令和８年度 札幌市電気設備施工研修会 ……7
令和８年度 電気通信事業に関する意見交換会 ……8
技術系学校先生との意見交換会……9
技術系学校生徒の現場見学会……10
安全衛生パトロール……11
令和８年度 北海道の建築工事に係る合同研修会 ……12
地元のシゴト　ワク！WORK！……13
シリーズ　１／179　便り
・人いきいき 町わくわく童話村　～滝上町～
滝上町長　清　原　尚　弘…14～15
・生き活きしらぬか 笑顔輝くまちを目指して　～白糠町～
白糠町長　棚　野　孝　夫…16～17
シリーズ　地区協会便り
オホーツク圏電業協会　会長　福　家　　貢…18～19
シリーズ　学び舎からこんにちは　～北海道函館工業高等学校～……20～21
厚生事業活動報告……22～23
シリーズ　私のいちおし
北盛電設株式会社　代表取締役社長　稲　津　　亘……24
業界だより、理事会・三役会議・委員会報告……25～27
事務局日誌……28
編 集 後 記



道有建築物の整備における建築局の取り組み

北海道建設部建築局長　清　水　浩　史

㈠社北海道電業協会の皆様には、日頃より北海道の営繕行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

道内経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、人手不足への対応に伴う人件費の上昇に加え、中東情勢の緊迫化など不安定な国際情勢を背景としたエネルギー価格や原材料価格の高止まりが続いており、依然として先行き不透明な経営環境にあることと存じます。

このような状況の中にあっても、皆様におかれましては、平時には日常生活や産業活動に欠かせない電気設備の整備や保守管理にご尽力いただいているほか、地震や風水害などの災害時には、ライフラインや設備機能の確保に向けた点検や復旧活動に迅速にご対応いただいており、深く敬意を表する次第です。

近年、建築局が発注する電気工事は、おおむね年間40億円規模で推移しておりますが、令和８年度につきましては、道営住宅の新築や高等学校の増築・改修工事に加え、LED化や空調設備の整備に伴う電源改修工事など、約58億円の事業量を見込んでおります。今後とも、事業量の確保、分離発注及び工事の早期発注に取り組んでまいります。

また、道では、2050年までの「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、2030年度における温室効果ガス排出量を2013年度比で50％削減する事を目標としています。この達成に向け、道有建築物から排出される温室効果ガスの削減を図るため、令和５年７月に「道有建築物の脱炭素化指針」を策定し、新築・改築・増築時におけるZEB化をはじめ、既存施設の改修においても、高効率空調機器への更新や照明のLED化などにより省エネルギー化を図るほか、太陽光発電設備の設置による再生可能エネルギーの導入など、建築物の脱炭素化に向けた取組を推進しています。

今年度は、札幌伏見支援学校もなみ学園分校増築棟、岩見沢東高等学校講義棟、網走警察署庁舎の３施設についてZEB認証を取得し、整備を進めております。

建設業では、時間外労働の上限規制への対応とともに、就業者の高齢化や担い手不足への対応が引き続き大きな課題となっております。建築局におきましても、週休２日制の推進、施工時期の平準化を見据えた適正な工期設定による長時間労働の是正のほか、遠隔臨場、情報共有システム、建設キャリアアップシステムに加え、AIをはじめとするデジタル技術の活用を推進し、業務の効率化、生産性の向上に努めているところです。

今後とも、官民が連携し、建設業が若者や子どもたちにとって魅力ある産業となるよう、また、持続的かつ安定的に発展していけるよう、取り組みを進めてまいりますので、皆様におかれましては、引き続き、道の施策推進に対するご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会のますますのご発展と、会員皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

就 任 ご 挨 拶



エクシオグループ㈱
北海道支店
執行役員北海道支店長

関　井　　悟

このたび、エクシオグループ株式会社北海道支店長を拝命いたしました関井 悟でございます。

平素より、電業協会の皆さまには格別のご指導、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社北海道支店は、情報通信インフラや電気設備分野において、地域社会を支える各種工事に携わってまいりました。とりわけ、北海道バレー構想に沿う苫小牧・千歳・札幌・石狩のエリアにおいては、半導体工場をはじめ、データセンター関連設備や通信基盤の整備など、次世代産業を支える重要な現場に取り組んでおります。こうした事業を通じて、先端技術の発展に寄与するとともに、北海道の持続的な成長と地域活性化に貢献出来るよう努めております。

私どもを取り巻く事業環境は、DXの進展、カーボンニュートラルへの対応、災害に強いインフラ整備など、大きな変革の時代を迎えております。

このような中、電気・通信設備工事業に求められる役割はますます重要になっております。安全・品質を全ての基本に据え、技術力の向上、人材育成、働き方改革を進めながら、信頼される企業として地域社会に貢献してまいる所存です。

今後とも、関係各位の皆さまとの連携を一層深め、業界の発展と北海道の未来づくりに尽力してまいります。

皆さまのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ エクシオグループ㈱ホームページ
◎ https://www.exeo.co.jp/



北札幌電設㈱
代表取締役社長

疊　　啓　介

清秋の候、皆さまにおかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、６月１日付にて、32年間にわたり代表取締役社長を務めた、畳 友祐（たたみ ともひろ）の後任として就任いたしました、疊 啓介（たたみ けいすけ）と申します。平素より当協会ならびに会員の皆さまには格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

弊社は1961年８月に札幌電設として創業した後、1963年４月に現在の北札幌電設株式会社を設立いたしました。以来、発電所や変電所における電力プラント建設を主軸とし、電力インフラを支える電気工事業を営んでおります。私自身は入社前に５年間ほど内線工事に従事しておりましたが、内線工事や送配電工事とは似て非なる分野ですので、当協会に参画し、多種多様な会員の皆さまと交流の機会を設けさせていただけることに深く感謝申し上げます。

まだまだ若輩者ではございますが、「社員の生活に豊かなものを提供すること」、そして、「社会の要である電気を守る企業としての誇りと責任」を胸に、会社一丸となり社業に邁進する所存です。

創業から65年間にわたり積み上げてきた技術力を絶えず成長させ、確かな品質を提供し続けることで社会に貢献してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、当協会のますますのご発展と、会員皆さまのご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。



㈱トーエネック
北海道支社
支社長
工　藤　貴　浩

このたび、株式会社トーエネック北海道支社長を拝命いたしました工藤 貴浩です。北海道電業協会会員の皆さまをはじめ、関係各位には日頃より格別のご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

北海道においては、社会インフラの維持更新や再生可能エネルギーの導入拡大、自然災害への備えなど、電気設備業界に求められる役割がますます重要となっています。また、少子高齢化による担い手不足や技術継承など、業界全体で取り組むべき課題も顕在化しております。

このような環境の中、当社は「安全最優先」を基本に、高品質な施工と確実なサービスの提供を通じて、お客様から信頼される企業であり続けることを目指してまいります。また、地域社会を支えるインフラ企業として、防災・減災への取り組みや脱炭素社会の実現にも積極的に貢献してまいります。

さらに、持続的な成長に向けては人材育成を重要な経営課題と位置付け、若手技術者の育成や技術・技能の継承に力を注ぐとともに、協力会社の皆さまとの連携強化を図りながら、安全で働きがいのある職場づくりを推進してまいります。

北海道電業協会の皆さまとは、業界の発展と地域社会への貢献という共通の使命のもと、これまで以上に連携を深めていきたいと考えております。微力ではございますが、北海道の電気設備業界のさらなる発展に尽力する所存です。

今後とも、皆さま方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



技 術 安 全

令和８年度 安 全 大 会



令和８年６月４日㈭北海道電気会館において、企業代表者や現場責任者など127社160名の参加により、当協会ならびに㈳札幌電設業協会共催による安全大会を開催しました。

安全大会は、職場における労働災害防止活動の重要性を実感し、積極的な安全活動の促進を図ることを目的に、例年、全国安全週間前の６月に開催しています。

開会にあたり札幌電設業協会の嶋川 泰規安全衛生委員長は「今年度の全国安全週間のスローガンには、外国人労働者も含め、多種多様な人材が混在する中で、一辺倒のことを言っても伝わらないし、的を射てない。その人の特徴を捉えたピンポイントで安全教育、指導に当たらなくてはならない。というメッセージが込められていると感じている。本日の安全大会が、この一年のゼロ災の一助になるよう有意義な時間としていただきたい」と挨拶しました。


嶋川 委員長

安全講話では、最初に札幌市都市局建築部の佐藤 公俊電気設備課長より、道内の労働災害発生状況や過去５年間の建築部発注工事で発生した事故・災害について、建設現場における熱中症対策について解説がありました。労働災害防止については、建設業の特徴である「重層下請構造」や職場の潜在的な危険性または有害性を除去、低減するリスクアセスメントや労働安全衛生マネジメントシステムの重要性を指摘。『かもしれない』との安全に向けた心構えをもって作業にあたって欲しい」と安全確保を呼び掛けました。

引き続き、北海道警察札幌方面中央警察署交通第一課の工藤 和也課長からは、①認知・判断・行動について、②交通事故の発生状況について、③道路交通法の改正について、④全席シートベルトの着用について、⑤飲酒運転の根絶について説明がありました。

その中で「安全運転は周りをしっかりと認知し、不測の事態に備え、車間距離、スピードダウンなど余裕を持った運転が重要である」と呼び掛けました。最後に当協会の鎌田 拓也専務理事より挨拶があり閉会しました。

＜講　師＞


佐藤 課長


工藤 課長

技 術 安 全

令和８年度 電気施設設備見学会

～㈱日建設計北海道オフィス～

北海道初！「Nearly ZEB」を実現！



空調負荷を低減するインナーテラス



１Ｆ 共創空間「PYNT北海道」

令和８年６月８日㈪当協会と㈳電気設備学会北海道支部の共催による電気施設設備見学会を開催しました。

この見学会は、会員の技術向上と最新施設設備の見聞を深めることを目的に例年開催しています。本年は、１月に業務を開始した「㈱日建設計北海道オフィス」の新社屋を見学しました。

本建物は、㈱日建設計が自社設計した新社屋であり、北海道初の省エネルギー設計のみで「Nearly ZEB」※を達成しております。

参加者は16名。設備概要について机上説明を受けたのち、建物西側のインナーテラスを中心に北海道産トドマツを構造材に採用した建物や太陽光発電設備などを見学しました。

※ Nearly ZEB（ニアリーゼブ）：国が定める基準のエネルギー消費量から75%以上を削減した建物

■ 北海道初「Nearly ZEB」

自然エネルギーを最大限に活用し、太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用に頼ることなく、建物の断熱性能や空調システムの最適化といった「省エネルギー」の追求のみで、基準の75%以上のエネルギー消費量を削減する「Nearly ZEB」を達成しています。

■ 北海道産トドマツを「建物骨組み」に

柔らかい材質のため構造材には不向きとされてきた北海道産トドマツを、板を重ね合わせて強度を高める加工を施し、建物の構造材として活用。端材も階段や家具、ベンチとして余すことなく利用しています。また周辺材も外装材としてデザインに活かすなど「ウッドロス」にも貢献しています。



メッセンジャーワイヤーによる照明器具の設置



構造材の端材も階段やベンチに活用

技 術 安 全

シーケンス制御の基礎【実技】講習会



令和８年７月22日㈬、入社１年から５年程度の電気設備工事実務者を対象とした「シーケンス制御の基礎【実技】講習会」を㈱北海電工の協力のもと、会員企業から６名が参加し、同社の本店講堂にて開催しました。

この講習会は、例年実技講習会として開催しています。開会にあたり当協会の長内事務局長は「シーケンス制御の基礎について、模擬制御装置を用いて実際に配線する実践的な内容となっている。操作、手順だけではなく原理、動作を理解することは技術者として必要な基本的要件である。少しでも多くの知識や技術を習得し、今後の技術力や品質向上につなげていただきたい」と参加者に呼びかけました。

その後、講師である㈱北海電工電設工事部課長の伊豆 基氏のほか、同社のスタッフにより講習会は進められました。

午前中のカリキュラムでは、制御盤製作に必要な知識と図面を理解するため、パワーポイントにより単線結線図や展開接続図、制御機器や部品などについて一部実技も加え講義を受けました。

午後からは、今回の目標である「フロートレススイッチを用いた手動・自動切替回路によるポンプの運転制御」について理解を深めるため、講師から適切なアドバイスや指導を受けながら結線図を基に配線作業が行われました。

配線作業後は、ブザーによる配線とシーケンスの正常性を確認するとともに、高架水槽給水方式をイメージしたポンプ運転制御の模擬装置による動作検証を行い講習会は終了しました。



指導を受けながら配線作業をする参加者

講習会終了後のアンケートでは、「実技を通じて動作原理や考え方の理解を深めることができた」「実技講習は受講しやすく、すぐにアウトプットできたので理解しやすかった」などの声が寄せられました。

【カリキュラム】

○ **午前の部**
- 単線結線図、ブロック図と展開接続図について（講義）
- 制御機器、部品について（講義＋実技）
- 三線結線図、組立図と接続図について（講義）

○ **午後の部**
- 配線作業（実技）
- ブザー・シーケンスチェックと動作確認（実技）

技 術 安 全

令和８年度 札幌市電気設備施工研修会



公共工事の検査と工事仕様書を学ぶ！

令和８年７月27日㈪北海道電気会館において、当協会ならびに㈠社札幌電設業協会共催による「札幌市電気設備施工研修会」を開催しました。

参加した企業代表者や現場責任者など149名は、札幌市から招いた講師の説明を通じ、公共工事の検査や電気設備工事仕様書と工事特記仕様書などについて学びました。

開会にあたり当協会の梅木 卓技術安全副委員長は「本日は、札幌市発注工事の動向や施工、積算などについて学ぶ大変有意義な機会である。研修会が今年度の工事に役立つ実践的な学びの場となり、それぞれの職場において知識や認識を共有する契機としていただきたい」と挨拶しました。


梅木 副委員長

続いて、札幌市都市局建築部佐藤 公俊電気設備課長より「本日は現場代理人と発注側および検査部門と情報を共有する貴重な機会である。質疑を通じて理解を深め、札幌市民への安心・安全・便利な設備の提供に引き続きご協力いただきたい」と挨拶がありました。

続いて研修会では、都市局建築部電気設備課の佐藤係長より令和７年度の電気設備工事を振り返って、財政局工事管理室技術管理課の船山係長からは、公共工事の検査について、工事成績評定の概要について、札幌市AI活用試行工事について、主な検査指摘事項などについて説明をいただきました。

休憩後、令和８年度電気設備工事仕様書・工事特記仕様書について都市局建築部電気設備課の常本係長より説明をいただきました。

その後、事前に会員から寄せられた施工や積算などに関する16項目の質問と要望事項に対して、同課と工事管理室の担当係長より回答をいただき認識の共有が図られました。

最後に札幌電設業協会の小村 広樹技術委員長は「本日の学びをそれぞれの職場へ持ち帰り、各現場の施工に役立てていただきたい」と会員へ呼びかけました。


出席いただいた札幌市の講師の方々

経　　営

令和８年度 電気通信事業に関する意見交換会



令和８年８月４日㈫、令和８年度札幌開発建設部および北海道開発局事業振興部と管内電気工事業３団体（札幌電設業協会、札幌電気工事業協同組合、空知地方電気工事協同組合）および当協会は、電気通信事業に関する意見交換会を開催しました。

札幌開発建設部からは、秩父次長（電気通信担当）はじめ７名、また本局事業振興部からは、デジタル基盤整備課 城野課長以下４名が出席しました。当協会からは、伏木副会長、今野経営副委員長、長内事務局長の３名が出席しました。

開会にあたり札幌開発建設部 秩父次長から「当意見交換会は、平成25年より始めている。今までも様々な取り組みを進めて来たが、昨今の中東情勢に係る影響への対応、少子高齢化また人材育成など課題は多岐にわたっている。本日は、限られた時間ではあるが、忌憚のないご意見や意見交換を通じて、次に活かしていきたいと考えている。よろしくお願いします」と挨拶がありました。



秩父 次長

続いて、当協会の伏木副会長からは「現在、工事量が多い中で技術者、技能者不足により、官公庁工事についても入札参加は減少傾向にある。そのような中、官公庁の皆さまには業界の声を聴いていただき、制度や施工環境などの改善に取り組んでいただいている。感謝申し上げます。人材不足に起因する入札参加の減少は、難しい課題であるが、本日は議論させていただいて、いい方向に向かっていきたいと考えている。今後ともよろしくお願いします」と挨拶しました。



伏木 副会長

話題提供では、本局事業振興部および札幌開発建設部より電気通信設備工事の契約・発注状況、札幌開発建設部管内の事業概要、建設業等の働き方改革実施方針、工事書類簡素化のポイント、施工効率向上プロジェクトフォローアップ調査結果などについて説明がありました。当協会からは、北海道内の工事や工事量の概況、資材費などの高騰に伴う価格転嫁、働き方改革の取り組みなどについて説明しました。

意見交換では、札幌開発建設部より事前に提出された質問事項に対して、考え方や回答が示され、質疑とともに意見を交わしました。

最後に北海道開発局事業振興部デジタル基盤整備課 城野課長より挨拶があり意見交換会は閉会いたしました。

総　　務

技術系学校先生との意見交換会

業界の理解深化と入職拡大に向け意見を交わす！



令和８年８月７日㈮、電気関係の学科を持つ道内の大学や専門学校、工業高校の先生方９名の出席により、札幌グランドホテルにおいて、意見交換会を開催しました。この意見交換会は、電気設備工事業界の理解深化と担い手確保を目的に例年開催しています。

冒頭、萩本 哲夫副会長は「本日は、学生や生徒の就職状況、電気工事業界に対する印象やご意見などを中心に意見交換をさせていただき、情報共有と相互の理解を深めていきたいと考えております。工事業、特に建設業の人手不足については、厳しさを増しています。



萩本 副会長

このような意見交換の場を通じて、ヒントや改善すべき点を見出していきたいと考えています。また、当協会の取り組みをご理解いただくことも改善するための方法とも思っていますので、本日はよろしくお願いします」と挨拶しました。

続いて、事務局より協会の事業案内や活動、配付された資料について説明があったのち、意見交換に入りました。

先生方からは、学生の就職状況について、電気設備工事業界に対する学生や保護者の印象や意見について、業界や当協会への要望、などについて発言がありました。

＜主な意見・要望＞

- ○ 学生が電設業界を別に嫌っているということはなく、BtoB企業について、そもそもよく知らず選びようがないということがあり、学生との接点を多く持っていくことが重要である。
- ○ 学生たちは実際の現場でどのような仕事をしているのか、会社の雰囲気はどうなのか、を気にしている。インターンシップをはじめ触れる機会が増えればいい。
- ○ 地元にどのような企業があるのかを知らない。学内企業説明会を実施したが、生徒の就職地域への意識に変化が出ている。
- ○ 保護者が会社を知っている。知らない。の２極化傾向がある。
- ○ 収入面では月収を見ている。電気は建築や土木と比べると安いイメージをもっている。
- ○ 仕事のイメージがつかず、とりあえず先輩の居る会社へ行こうとする生徒もいる。電設業界を知らせる･理解させる説明会などが必要である。

技 術 安 全

技術系学校生徒の現場見学会

～札幌市琴似小学校改築強電設備工事～





電気工事の醍醐味と仕事の面白さを伝える！

令和８年８月20日㈭技術系学校生徒の現場見学会を開催。札幌科学技術専門学校および札幌琴似工業高校の生徒が参加し、電気設備工事の現場を見学しました。

この見学会は、担い手確保に向けた事業活動の一環として開催しています。電気設備工事の一端に触れることにより、電気設備工事業界の実情について理解を深めるとともに、関心と興味を高めることにより、電気設備工事業界への入職率向上につなげることを目的としています。

当日は、札幌科学技術専門学校電気技術科の生徒９名と札幌琴似工業高校電気科の生徒４名の計13名が参加。来年２月末に竣工を控える「札幌市琴似小学校改築強電設備工事」の工事現場を見学しました。

開催にあたり当協会の水谷 吉男総務委員は「授業で学んだ技術や知識が、社会に出た時にどのように現場で生かされているのか、本日現場を見ていただくと、勉強の行く先に何があるのか想像が線でつながると思います。本日の見学を通じて電気工事に興味をもっていただけたら嬉しく思います」と呼びかけました。



水谷 委員

その後、現場所長の㈱北海電工 若井 秀斗主任より、工事概要や見学のルート、内線電気設備工事の流れなどについて説明を受け、見学する現場へ移動しました。

生徒と先生の16名は２班に分かれ、１階の給食調理室から見学。２、３階の普通教室、理科室などの特別教室や新築されている体育館（アリート）と次々と見学しました。若井所長からは、内線工事ではミリ単位の調整が必要になることや、内装工事が進んでもコンセントなどの中心が分かるような目印を工夫していることが説明されました。また「電気設備のほか、建築、機械設備、昇降設備など色々な職種、立場の人が関わっている」と一つの建物を造る醍醐味を伝えました。



現場所長 若井さん（右）
現場担当 佐藤さん（左）

見学会を終えた生徒からは「完成後には隠れてしまう天井裏や壁裏の電気、通信、防災などの工事が進行する様子を間近に見学出来て、とても参考になった」「複雑な工程を管理する仕事はとても高度であると感じたが、それ以上にやりがいのある魅力的な職種であると伺い、この道に進みたいという気持ちが一層強くなった」などの感想が寄せられました。

技 術 安 全

安全衛生パトロール

～長沼町一体型義務教育学校新築工事～

『工事追込期』の現場を点検する！





技術安全委員会は、令和８年８月21日㈮長沼町で工事が進む、一体型義務教育学校新築工事のうち電気設備工事への安全衛生パトロールを実施しました。パトロールには梅木副委員長の他４名の委員が参加。工事追込期を迎える現場に労災につながる危険がないか点検しました。

長沼町は、令和２年４月の小学校統合により、小学校、中学校とも１校になったことから、施設分離型の小中一貫校として取り組みを進めてきました。また、長年の課題であった小・中学校校舎の老朽化と将来的な人口減少に伴う児童生徒数の減少などから、施設一体型義務教育学校を設置することとしました。

梅木副委員長等は、工事事務所で現場代理人より工事概要や進捗状況、当日の作業内容などについて説明を受け、工事現場内へ移動しました。

当日の作業は、屋上階のインサート設置工事に３名の作業員が従事。参加者は、点検表に基づき、一般事項をはじめ、墜落・感電防止、防火管理、衛生・環境など６項目にわたって点検しました。

パトロール終了後は、現場代理人とともに、点検結果について各委員より報告を受けました。その中で災害につながるような指示事項はありませんでしたが、鉄筋業者の作業時の昇降設備の使用徹底や、建築JVへの要望事項として、足場階段の外側手すりの追加などの措置について意見がありました。

参加した宮森委員は「労働安全衛生規則は改正されることが多い。最新情報を入手し管理して欲しい」と呼びかけました。

その後、現場の安全衛生対策、建築工事遅延に伴う発注者への対応などについて意見が交わされ「完成まで工期は短いが、無事故で竣工を迎えて欲しい」と結び終了しました。





経　　営

令和８年度 北海道の建築工事に係る合同研修会





担い手確保への一層の支援を求める！

令和８年９月３日㈭、北海道電気会館において、当協会、北海道電気工事業工業組合、㈱北海道空調衛生工事業協会、北海道管工事業協同組合連合会の設備４団体は、北海道建設部建築局より清水局長をはじめ、７名の幹部の方々のご出席をいただき北海道の建築工事に係る合同研修会を開催しました。

当協会からは藪下会長他18名、４団体総勢63名が参加。北海道が発注する建築設備工事について理解を深めるとともに、環境改善に向け、発注者、受注者双方が情報を交換しました。

開会にあたり当協会の藪下 裕己会長は「設備工事業界の喫緊の課題は、何といっても『将来を担う人材の確保と育成』の問題です。若者に魅力ある『業界』と感じてもらえるような発信や建設業のイメージ向上に引き続き取り組んでいるところです。業界としての努力は重要ですが、それだけでは解決が困難な要因も多く、関係官庁の皆さまと密接に連携を取りながら、対応を進めてまいりたいと考えております。これまで以上のご支援とご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます」と挨拶がありました。

続いて、北海道建設部建築局清水 浩史局長は「本日、前半は、担い手確保に向けた営繕行政の取り組み、中東情勢を受けた対応、またLED改修工事における概算数量発注方式などについて、情報提供させていただきます。また後半では、皆さま方からいただいたご要望等について、意見交換の場としており、お互いに理解を深められるものとなるよう、忌憚のないご意見をいただければ幸いです」と応じました。

次に各担当の係長、主査より「北海道の営繕行政の取り組み」、「積算に係る最新動向等」、「LED改修工事における概算数量発注方式」について説明がありました。

この後、設備４団体から、共通事項として次の４項目を要望しました。

【共通事項】

１．「働き方改革」推進に向けての一層の支援
２．「担い手確保・人材育成」への一層の支援
３．実勢価格の急激な変動への対応
４．安定的な工事量の確保と分離発注の継続

その後、質疑応答が行われ、北海道からは、要望事項に対するコメントと基本的な考え方が示され、認識の共有と相互理解を深めました。

最後に北海道管工事業協同組合連合会の佐藤安幸会長より挨拶があり、意見交換会は閉会いたしました。



藪下 会長



清水 局長



地元のシゴト ワク！WORK！

札電協との共同出展ブースに高校生284名が来場
仕事の紹介や体験を通じて業界をPR！

令和８年９月24・25日の両日、「地元のシゴト ワク！WORK！」が札幌市東区の札幌市スポーツ交流施設「つどーむ」で開催されました。当協会は札幌電気工事業協同組合（札電協）とコラボにより出展。参加した高校生は３次元CADによる電気設備工事の「設計図作成」を体験しました。

「地元のシゴト ワク！WORK！」は㈱マイナビ主催の高校生向けの職業体験イベントとして開催されました。札幌市商工会議所と空調衛生工事業、管工事業の関連業界団体が共同で出展していましたが、本年より電気設備工事業として当協会と札電協のコラボにより出展しました。

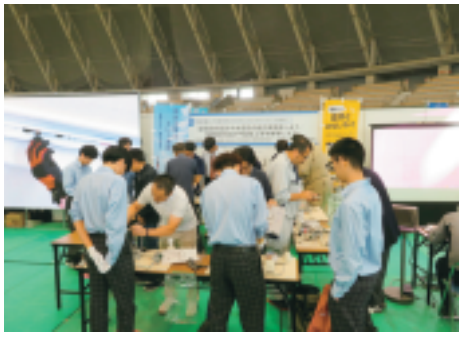
札電協のブースでは、組立体験として模擬ボードに用意された三路スイッチ回路の配管へのケーブル通線やボックス内の結線を体験しました。

当協会では、３次元CADによる照明器具やコンセント配置図、照明器具とスイッチ、配電盤の配線図と配線のためのラック図の作図を体験しました。

当日は２台のパソコンを設置。CADインストラクターとして８会員より９名の技術者が配置され、高校生の操作を親切、丁寧にサポートしました。

参加した高校生は、最新のグラフィック技術による高速３D表示や高速視点移動、輪郭や文字などの高精細な３D表現を体感。最後に干渉検査により、配置した部材や機器に干渉がないかを確認しました。

また、ブースでは生徒等へのアピールとして、のぼりを立てたほか、紹介パンフレットの配布や大型デジタルサイネージによる紹介動画の放映など、工夫が凝らされました。



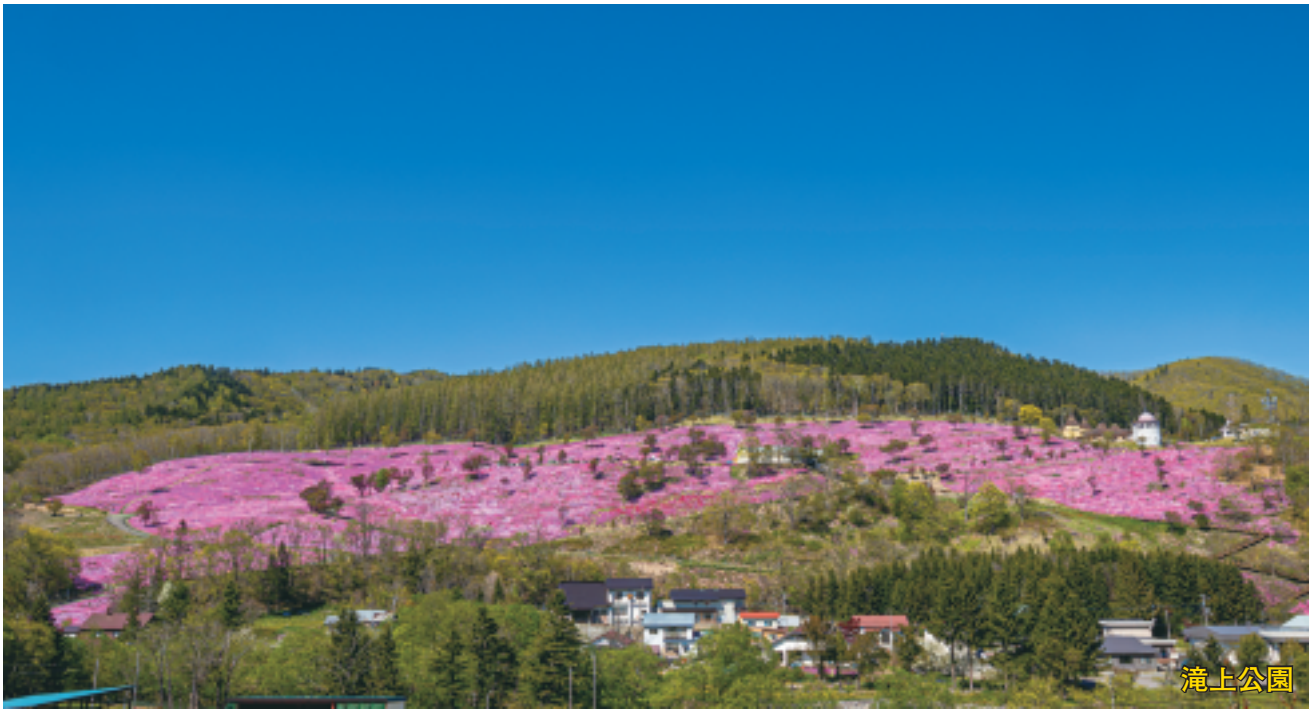
電気工事の通線や結線を体験



３次元CADによる作図を体験

人いきいき 町わくわく童話村
～滝上町～

滝上町長　清　原　尚　弘


滝上公園

■ まちの紹介

北海道オホーツク管内の西部にある滝上（たきのうえ）町は、町の約９割を豊かな森が占め、水質が最も良好な河川に選ばれた清流「渚滑川（しょこつがわ）」が流れる自然いっぱいのまちです。

「人いきいき 町わくわく 童話村たきのうえ」をキャッチフレーズに、豊かな地域資源を活かした独自のまちづくりを展開してきました。本年はこの想いをさらに深め、「誰もが自分らしく楽しく暮らせるまち」を目指す『童話村構想深化版』を策定し、持続可能な未来へ歩みを進めていきます。

■ みかん箱ひとつから芝ざくらの大群落地へ

毎年５月上旬から約１か月の間、芝ざくら滝上公園は一面がピンクのじゅうたんのように「芝ざくら」が咲く大群落地です。

実はこの壮大な風景、昭和32年頃に台風で壊滅状態だった桜の木の代わりに植えたみかん箱ひとつ分の芝ざくらの苗から始まりました。その２年後、滝上公園の造成がはじまり、行政と住民のボランティアが育て上げた、まさに手作りの絶景です。

満開の時期には、鮮やかなピンクのじゅうたんが広がるだけでなく、甘い香りがまち全体をやさしく包み込みます。麓を流れる清流「渚滑川」とのコントラストも美しく、まるで童話の世界に迷い込んだかのような感動が味わえます。一年に一度しか出逢えない“香りと色の絶景”をぜひ、体感してみませんか。


滝上公園の芝ざくら大群落地

■「和ハッカ」生産日本一

実は、滝上町は100年以上もの歴史を誇る「日本一の和（わ）ハッカの産地」なのです。かつては1,100ha以上あったハッカ畑ですが、時代の流れとともに減少し、今では約６haほどに。

それでも「この伝統と香りを絶やさない！」という５戸の生産者の熱い想いによって大切に育て

られ、国内生産日本一なのが滝上町です。



和ハッカ畑

そんな自慢の和ハッカを使ったアイスキャンディーが、令和元年に道内のコンビニで発売され、好評を得ています。それをきっかけに、今ではジュースやお酒など、たくさんの魅力的な商品が生まれています。

これからも、滝上町の大切な地域ブランドを守り、全国へ爽やかな香りと魅力をお届けしていきます。



和ハッカ商品

■ 日本一変わっている花園

「陽殖園（ようしょくえん）」は、園主の高橋武市さんがたった一人で70年以上かけて作り上げた、約８万㎡の奇跡の花園です。



陽殖園

中学２年生で花を植え始めたのをきっかけに、完全無農薬、化学肥料不使用で自然を再現しました。自らが池を掘り、約５kmの散策路を整備し、人工的に自然を再現する花園作りを一人で行っています。毎年４月下旬から10月中旬頃まで開園し、季節ごとに咲き誇る花々と、武市さんとの交流が楽しめる「井戸端会」や「雑談会」なども開催され、開園期間中は毎日が見頃です。

■ 上紋峠がいつでも繋がる安全な道へ

これまで道道61号「士別滝上線」の上紋峠周辺は、携帯電話の電波が届かない「不感地帯」でした。そこで令和４年度から携帯電話不感地帯の解消に向けた要請活動をスタートさせ、令和６年度には関係機関の協力をいただきながら鉄塔建設工事を行い、主要３キャリアの無線機を設置して、無事に電波を届けることができました。

新しい基地局ができたことにより、上紋峠の頂上付近、約８kmエリアで大手３キャリアの携帯電話が使えるようになっています。万が一の事故の際にもすぐに緊急通報ができるようになり、安全性が大きく向上しました。

これによって、今まで冬の間に実施されていた「冬季通行止め」が解除され、悲願だった通年開通が実現しました。冬場も士別や旭川方面へスムーズに行き来ができるようになり、町民の皆さんや道路を利用される方々の利便性がぐっと高まりました。

■ 心身ともにリフレッシュ！「錦仙峡」

街の真ん中を流れる「渚滑川」の渓谷「錦仙峡（きんせんきょう）」は、「北海道観光百選」にも選ばれた景勝地です。川沿いには「洛陽の滝」や「白亜の滝」など、大小さまざまな滝が出迎えてくれます。

両岸に広がる遊歩道は「美しい日本の歩きたくなるみち500選」にも選定されており、心地よい散歩にぴったりです。春のみずみずしい新緑、夏の涼しい木陰、そして秋を彩る鮮やかな紅葉と、四季を通じて心身ともにリフレッシュできますよ。さらに、バードウォッチングの絶好のスポットとしても有名で、珍しい小鳥たちに出会えるかもしれません。川のせせらぎに耳を澄ませながら、のんびり歩いてみませんか。



錦仙峡ウォーク

生き活きしらぬか
笑顔輝くまちを目指して　～白糠町～

白糠町長　棚　野　孝　夫


東山公園から町を望む

■ まちの紹介

道東の太平洋側に面した白糠町は、豊かな海と森に抱かれた自然あふれたまちです。８月でも夏日を超えることが少なく、冷涼で大変過ごしやすい気候です。秋から冬にかけての日照時間も長く、晴天の日が多い道内でも降雪量が少ないのが特徴です。アイヌ語の「シラリ（磯）・カ（上）」を語源に、「波が磯を越え、しぶき立つ」様子が町名の由来とされています。

1632年に松前藩が白糠場所を開設、1884年に戸長役場が設置されました（これが白糠町の開基とされた）。昭和25（1950）年11月１日町制を施行し白糠村から白糠町となりました。

◎ 人口と世帯数（令和８年６月30日現在）
- 人　口　6,702人
  - 男　性　3,152人
  - 女　性　3,550人
- 世帯数　3,823世帯

■ 魅力的な特産品

海、川、山などの豊かな自然がもたらす新鮮な「食材」がまちの自慢です。

太平洋沿岸の河川のみに生息するシシャモ、毛ガニ、ヤナギダコ、灯台つぶ、秋サケ、イクラなどの海産物の他、鹿肉、羊肉、乳加工品（イタリアンチーズ）や「紫蘇香るまち白糠」をキャッチフレーズに、町内鍛高地区で育てた紫蘇を使用した「しそ焼酎『鍛高譚（たんたかたん）』」、「鍛高ラムネ」や「しそ醤油」などの製品が特産品として有名で、これらは令和７年４月に新築移転オープンした「道の駅恋問館」でも購入することができます。


白糠産「ヤナギダコ」


道の駅「恋問館」



酪恵舎「幸せセット」（チーズセット）

■ 白糠町の見どころ

庶路ダムに向かって車を走らせると、道路沿いに３㎞にわたる桜並木が魅力の「あつしの千本桜」をご覧いただけます。約1,000本のエゾヤマザクラが５月上旬から中旬に見頃を迎える隠れた名所になっています。



毎年８月に開催される「港 in しらぬか花火大会」は、今年で12回目を迎える人気のイベントです。当日は屋台村やお笑い芸人などによるステージイベントなど、多彩な催しが打ち上げ前の会場を盛り上げるとともに、約10,000発の色鮮やかな花火が白糠の夏の夜空を彩ります。

他にも６月には「港 in しらぬか大漁祭り」７月は勇壮な海中神輿が人気な厳島神社例大祭、９月はハミングロードを会場に行われるカミングパラダイス、10月にはダム湖周辺を歩く「ぐるっと庶路ダム紅葉ウォーク」と町内外の方々が楽しめるイベントが毎月開催されます。

■ ウレシパチセとポコロ

白糠町の歴史を語る上で欠かせないのが、先住民族であるアイヌの文化です。



ウレシパチセ

この地域には古くからアイヌの人々が暮らし、自然と共生する独自の文化を育んできました。

その伝統を今に伝える施設が「ウレシパチセ」です。「チセ」とはアイヌ語で「家」を意味し、「ウレシパチセ」は“互いに育む家”という意味を持っています。

アイヌ刺繍やムックリなどの伝統文化の体験や交流を通じて、アイヌ文化への理解を深めることができる貴重な場所です。

また「ポコロ」は白糠のアイヌ文化を紹介する展示施設として、アイヌコタンの暮らしを再現したジオラマや、特徴的な民具、伝統工芸品や衣装をご覧いただけます。

■ ふるさと納税

北海道内でも有数のふるさと納税人気自治体として知られ、いくらの醤油漬けやエンペラーサーモンなどの海産物をはじめ、多彩な返礼品を提供しています。全国の皆様から寄せられた寄附金は子育て支援や教育環境の充実、産業振興、地域活性化に活用されており町の未来を支える大切な財源となっています。



いくらの醤油漬け



エンペラーサーモン

■ 白糠町ホームページ

◎ https://www.town.shiranuka.lg.jp

地区協会便り
district association news

オホーツク圏電業協会
会　長　福　家　　貢
（北海電建㈱ 代表取締役社長）


オオワシ


流氷観光船「おーろら」（網走市）


流氷観光船「ガリンコ号」（紋別市）


「カニの爪」オブジェ（紋別市）

■ 電業協会の概要

・設　立：昭和50年３月１日
・会員数：22社（令和８年９月現在）
・自治体数：３市14町１村
・人　口：約25万人（令和８年１月現在）
・面　積：10.7㎢（北海道の２位）

当協会は、昭和50年に北見電業協会として設立し、平成11年にオホーツク圏電業協会と改名しました。設立から51年にわたりオホーツク管内の電気工事事業者の団体として、電気設備工事の施工、施設維持業務などを通じて人々のくらしを支えてきました。

■ 電業協会の事業活動

≪安全の取り組み≫

当協会では毎年安全パトロールを行っております。最近は建物の新築工事が少なく街路灯の改修工事などの現場でパトロールを実施しております。

特に高所作業車を使う作業では、労働基準監督署のパトロールも増えているため、その時に提示を求められる作業資格者証と作業計画書の確認に重点を置いています。

≪分離発注要請活動≫

北海道電業協会から要請を受けている分離発注のための陳情要請活動では、会長と当該自治体の会員で、毎年１月～２月に首長を訪問しております。しかし、自治体との関係性の維持もあり、あまり強いお願いは出来ないのが現状です。

≪意見交換会≫

網走開発建設部との意見交換会を、毎年８月頃に開催しています。今年で14回目を迎えております。会長と副会長の他、開発建設部からの受注実績のある会員が参加しています。

≪親睦活動≫

親睦活動として、十勝帯広電業協会と釧根電業協会との３地区持回りにて、ゴルフ大会と親睦懇親会を行っております。令和８年度は釧根電業協会での開催を予定しています。

また、当電業協会では２～３年に一度の割合で、旅行会を行っております。昨年は50周年で、韓国ソウルに行き、北朝鮮への地下トンネルで国境ギリギリまで行きました。

■ 管内のおすすめスポット

地方においてはとにかく、人口減少が大きな問題になっております。若者が都会へ出てしまう仕組みが、構造的に地方を苦しめております。

しかし、それに立ち向かい、地域を活性化しようとする団体があります。管内の建設会社で構成されている「オホーツク21世紀を考える会」です。本年度この団体がオホーツク管内のサウナのガイドブックを出しました。今回のおすすめスポットはオホーツクのサウナです。

このガイドブックには、北は雄武町から南は知床まで、オホーツク管内の日帰り可能なサウナ30軒が掲載されています。

オホーツク地方のサウナは訪れる価値がありますよ！このガイドブックは電業協会の事務局に若干数ですが、置かせていただきます（無料）。ご希望の方は是非ご入手ください。

「暑くてもサウナ・寒くてもサウナ」。オホーツクサウナ巡りに是非、いらしてください。

整いました！ありがとうございました。



オホーツク「日帰りサウナガイドブック」

◎ **日帰りサウナ（抜粋）**

オホーツク温泉ホテル日の出岬（雄武）、ホテル森夢（西興部）、童話村たきのうえホテル渓谷（滝上）、くつろぎ湯処　紋太の湯（紋別）、かみゆうべつ温泉チューリップの湯（湧別）、丸瀬布温泉やまびこ（遠軽）、生田原温泉ホテルノースキング（遠軽）サロマ鶴雅リゾート（佐呂間）、サウナ アッセ・デール（北見）、美白の湯宿 大江本家（北見）、北見ピアソンホテル若松の湯（北見）、おけと勝山温泉ゆぅゆ（置戸）、訓子府町役場　温泉保養センター（訓子府）、ランプの宿 森つべつ（津別）、峠の湯びほろ（美幌）、湯元ホテル山水 美肌の湯（大空）、ふれあいセンターフロックス（大空町）、ホテル網走湖荘（網走）、北天の丘あばしり鶴雅リゾート（網走）、小清水温泉ふれあいセンター（小清水）、きよさと温泉ホテル緑清荘（清里）、知床第一ホテル（斜里）、KIKI知床ナチュラルリゾート（斜里）

この他に、改修工事が終わり営業再開した、のんたの湯（北見・端野）があります。

ロウリュウはエスコンと同じ機械が導入されているとのことです。

■ 構成会員紹介

北海電建（ほっかいでんけん）株式会社

創立は、昭和28年１月17日で、今年で74年目を迎えます。遠軽町で電気・通信・とび土木・消防施設の工事を行っています。

交通信号機工事は、50年以上の実績があります。受注先といたしましては、北海道開発局網走開発建設部、北海道、遠軽町、湧別町の公共工事と、建設会社からの電気工事および町内の電気の不点対応などです。

最近は、地域の過疎による人員不足と働き方改革でとても大変ですが、この町がある限り何とか存続したいと思っております。



北海電建株式会社　社屋

会社所在地：紋別郡遠軽町岩見通北１丁目１番地





オホーツク圏電業協会

〒090-0817
北海道北見市常盤町６丁目２番地26号　㈱電建内

学び舎（まなや）からこんにちは

～北海道函館工業高等学校～



■ 本校概要

本校は令和８年度に創立115周年を迎える、道南唯一の工業高校です。長い歴史の中で地域産業を支える多くの技術者を輩出してきました。その伝統を受け継ぎながら、時代の変化に対応した新たな学びを実現するため、令和２年度に従来の電気科と情報技術科を再編し、「電気情報工学科」を設置しました。

学科設立当初は、２年次から電気コースと情報技術コースに分かれ、それぞれの専門性を高める教育を行ってきました。しかし、AIやDXの進展により、社会ではデジタル技術を活用しながら現場で課題を解決できる技術者が求められる時代となっています。そこで本学科では、令和８年度入学生からコース制を廃止し、「電気」と「情報」の両方を深く学ぶ教育課程へと転換しました。

■ 教育目標～ハイブリッド人材の育成～

電気設備は今や単独で存在するものではなく、ネットワークやIoT、AIなどの情報技術と密接に結び付いています。設備を施工、保守するだけではなく、その先のシステムまで理解できる技術者の育成が、これからの工業教育には必要であると考えています。本学科では、現場で求められる「フィジカルな技術力」と「デジタルを使いこなす力」を兼ね備えた、いわばハイブリッド人材の育成を教育目標として掲げています。

■ 資格取得

その実現に向け、資格取得にも力を入れています。令和８年３月卒業の第４期生では、第二種電気工事士試験にクラス36名全員が合格しました。

また、第１期生からは第三種電気主任技術者試験合格者を輩出し、第４期生ではAI・データ活用能力を証明する「ジェネラリスト検定」にも合格者が誕生しました。



第二種電気工事士技能試験対策実習

こうした成果は、生徒一人ひとりの努力はもちろんのこと、「自主創造」の校訓のもと、自ら課題を見つけ主体的に学ぶ姿勢を大切にしてきた結果であると考えています。さらに、大学や企業との連携による出前授業や、洋上風力発電をテーマとした課題解決型学習などを通して、知識だけではなく、自ら考え行動する力の育成にも取り組んでいます。

■ 進路指導

◎ 進路選択

一方で、本学科では資格取得だけではなく、「自分に合った進路選択」を重視しています。高校卒業後の早期離職は全国的な課題となっており、厚生労働省によると高校新卒者の３年以内離職率は37.9％となっています。


インターンシップ実習

本学科では、この課題を少しでも改善するため、１年次から段階的なキャリア教育を実施しています。電力、通信、設備工事など各業界の概要を知る講話をはじめ、２年次には約25社の企業による会社説明会を開催し、多様な企業と直接触れ合う機会を設けています。

また、函館地方電気工事協同組合をはじめ、多くの企業の皆さまのご協力のもと実施しているインターンシップでは、実際の現場で働く方々の姿や職場の雰囲気を体感することで、生徒の職業観や就業意識は大きく変化します。

その結果、本学科卒業生の３年以内離職率は18.9％と、全国平均を大きく下回る実績につながっています。

◎ 進路実績

進路面では、第１期生から第４期生までの４年間で150名の卒業生を送り出し、95名が就職、55名が進学しています。就職先は道内外に広がり、そのうち約３割が電気設備関連企業へ就職しています。地域社会や産業界を支える技術者として、多くの卒業生が第一線で活躍していることは、本学科にとって大きな誇りです。

AIの発展により社会は大きく変化していますが、人々の生活を支えるインフラを整備、維持する仕事の重要性は決して変わることはありません。むしろ、高度化・デジタル化する設備を支えるためには、これまで以上に幅広い知識と確かな技術力を備えた人材が求められる時代になると考えています。


ものづくりコンテスト

■ 社会に必要とされる技術者の育成

本校電気情報工学科は、これからも地域産業と連携しながら、社会に必要とされる技術者の育成に努めてまいります。

北海道電業協会ならびに会員企業の皆さまには、日頃よりインターンシップや企業説明会など多方面にわたりご支援をいただいております。この場をお借りして深く感謝申し上げるとともに、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 北海道函館工業高等学校ホームページ

◎ https://www.kanko.hokkaido-c.ed.jp/

■ 函工公式note

◎ https://kanko-hs.note.jp/

BOWLING **厚生事業活動報告** SINGING BOWLING SINGING BOWLING SINGING BOWLING SINGING BOWLING SINGING

ボウリング部会

『ストライク！』『スペア！』会場に歓声が上がる！



プレー前に全員集合！



優勝した佐藤さん（左）

ボウリング部会は７月17日㈮、GiGO BOWLノルベサにおいて、今年度１回目の部会を開催しました。

当日は15会員から27名が参加。ボウラー仲間の競演に歓声が上がり、爽やかな疲労感とともに親睦、交流が図られました。次回は11月27日㈮に開催します。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

＜総合成績＞

順位	氏　名	会　社　名	1G	2G	HD	TOTAL
優　勝	佐藤　智昭	弘和電気㈱	160	116	30	336
準優勝	高木　直人	㈱北弘電社	162	160	0	322
3　位	大西　勇輝	北盛電設㈱	136	166	9	320
4　位	片平　友樹	浅海電気㈱	135	159	13	320
5　位	森崎　亨一	北盛電設㈱	124	154	19	316
6　位	有本　純	北電力設備工事㈱	168	105	17	307
7　位	宮本　貴史	㈱システムサービス	148	147	4	303
8　位	三好　裕一	㈱札幌機電工業所	146	135	11	303
9　位	三好　充博	協信電気工業㈱	130	108	30	298
10　位	嶋田　幸規	㈱北弘電社	126	126	21	294

歌唱部会

お酒を片手に『歌』と『おしゃべり』を楽しむ！！

今年度の第１回歌唱部会を８月21日㈮「ナイトバンク」において、22名の参加をいただき開催しました。嶋津 博厚生委員長の乾杯でスタートし、差入れの日本酒、芋焼酎を片手に会話も弾み、カラオケも大いに盛り上がりました。圧巻はなんといっても、㈱でんこう 藤井さんが熱唱した「**ファンファーレ**」。

TBS日曜劇場の主題歌に起用され、紅白歌合戦でも玉置 浩二さんが歌われた名曲です。感動のあまり涙を流す者がいたとか、いないとか…

次回開催は２月を予定しておりますが、いったいどんな歌で盛り上げてくれるのか楽しみです。是非、皆さんも参加してみてください。

歌唱部会長 大塚 雅史
スタッフ一同



「ファンファーレ」を熱唱する藤井ボウリング部会長



GOLF SOFTBALL GOLF SOFTBALL GOLF SOFTBALL GOLF SOFTBALL GOLF SOFTBALL GOLF SOFTBALL GOLF SOFTBALL GOLF SOFTBALL GOLF

ゴルフ部会



ゴルフ部会は、第１回を６月30日、第２回を７月14日に開催。両回とも30名を超える参加をいただき、グリーン上の熱戦が繰り広げられました。表彰式では、プレーを振り返りながら和やかに談笑し、会員相互の親睦が深められました。

■ 第１回 総合成績　2026年６月30日㈫　参加者：35名（26社）　札幌羊ヶ丘CC

順　位	会　社　名	氏　　名	OUT	IN	Gro	HD	NET
優　勝	㈱北海電工	内田　勝久	48	38	86	22	64
準優勝	㈱サンテック	金子　亮一	45	45	90	23	67
3　位	システムサービス㈱	増田　伸来	42	45	87	25	62
4　位	アイ・リンク㈱	本間　勝行	46	42	88	20	68
5　位	北海道タツヲ電気㈱	水谷　吉男	42	41	83	11	72
6　位	浅海電気㈱	片平　友樹	44	41	85	12	73
7　位	日本電設工業㈱	佐口　紀浩	43	45	88	15	73
8　位	北海道タツヲ電気㈱	木村　賢史	43	43	86	12	74
9　位	アイ・リンク㈱	細野　隆平	48	50	98	24	74
10　位	振興電気㈱	高木　新吾	48	51	99	25	74

＜優勝者＞
内田　勝久さん



■ 第２回 総合成績　2026年７月14日㈫　参加者：33名（22社）　札幌エルムCC

順　位	会　社　名	氏　　名	OUT	IN	Gro	HD	NET
優　勝	アイ・リンク㈱	細野　隆平	37	48	85	24	61
準優勝	システムサービス㈱	増田　伸来	39	38	77	15	62
3　位	北海道タツヲ電気㈱	水谷　吉男	36	39	75	11	64
4　位	㈱札幌機電工業所	三好　裕一	41	45	86	18	68
5　位	橋本電気工事㈱	天野　雅之	45	47	92	24	68
6　位	㈱北弘電社	嶋田　幸規	45	47	92	24	68
7　位	北海道タツヲ電気㈱	木村　賢史	41	40	81	12	69
8　位	北盛電設㈱	大塚　雅史	44	43	87	16	71
9　位	東光電気工事㈱	齊藤　将己	50	42	92	20	72
10　位	滝沢電気設備㈱	滝澤　秀樹	52	50	102	30	72

＜優勝者＞
細野　隆平さん



野球部会



本日の参加者～全員集合





北海電工 五十嵐さん～惜しくもファール

野球部会は、令和８年９月11日㈭西区福井のリゾートサッポロにおいて、今年度の事業活動として「営業マンソフトボール大会」を開催しました。

ソフトボール大会には、会員企業16社から23名の営業マンが参加。年代毎に２つのチームを編成し、青空広がる秋晴れのもとプレーボールがかけられました。各社営業マンは、急造チームながら白熱したプレーを展開。約１時間のプレーに汗を流しました。

その後の焼肉を囲んだ懇親会は、嶋津 博厚生委員長の乾杯で開宴。その日のプレーや日頃の仕事話に華が咲き、来年の開催を楽しみにしながら終了しました。参加された皆さん、お疲れさまでした。

数日後の筋肉痛に備え、ケアは忘れずに！



嶋津 委員長

～シリーズ～「私のいちおし」

北盛電設株式会社
代表取締役社長　稲　津　　亘

今回、私がご紹介するお店は「salon H」（サロン アッシュ）というシャンパンバーです。

皆さんは、「シャンパン」と聞いてどのようなイメージをお持ちでしょうか？お祝いの席や特別な日にいただく高価で少し敷居が高い飲み物。というイメージでは？そんなイメージをがらりと変えてくれるのが「サロン アッシュ」です。



手前：本人

毎日６種類のシャンパンをグラスで用意し、少人数ならボトルを入れなくても気軽に楽しめますし、飲み比べてお気に入りのシャンパンを見つけるのもいいかもしれません。シャンパン以外にもワインやウイスキー、ブランデー、ジン、ウォッカ、ビールなども用意されています。

オーナーはソムリエの村田 秀人さん。2014年にオープンし、お店の名前の「アッシュ」はフランス語の「H」のことで、オーナーの名前の「Hideto」や「Hokkaido」「Hospitality」の頭文字から。「サロン」はフランス語で「客間・社交の場」という意味があり、落ち着いた雰囲気や特別感、くつろげるお店という思いで命名したそうです。

ここで、シャンパンの雑学を少々。

シャンパンはフランスのシャンパーニュ地方原産のスパークリングワインのこと。日本語では、シャンパンの呼称が広く用いられていますが、本来は「シャンパーニュ」と言います。

このシャンパーニュですが、意外にも効能がたくさんあるらしく、シャンパーニュ酵母に含まれるグリセロールに保湿効果があり美肌に良いと言われていますし、その香りにはリラックス効果も。さらには、ぶどうの果皮に含まれるポリフェノールが440種類あり、老化やシミの原因となる活性酸素の除去、悪玉コレステロールを抑え、動脈硬化や記憶力アップにも効果があるとのこと。イギリスのレディング大学の研究によると週３杯飲むと認知症予防効果が期待出来るという報告もあるそうです。



また、シャンパーニュにまつわる偉人の名言も多く、ここで、二つご紹介します。

「シャンパーニュは勝利の時に飲む価値があり、敗北の時には飲む必要がある」
By ナポレオン ボナパルト

「お肉には赤を。魚には白を。そして、恋にはシャンパーニュを！」
By オードリー ヘップバーン

特別な日はもちろん。何気ない一日の締めにシャンパーニュを片手に「サロン アッシュ」でくつろいでみてはいかがでしょうか。



オーナー村田さん（右）と一緒に

◇ サロン アッシュ

・住　所　　札幌市中央区南４条西２丁目14-２
　　セントラルS４ビルB１
・電　話　　011-211-1912
・営業時間　19：00～25：30最終入店
　　（日・祝は23：30最終入店）
・定休日　　毎週水曜日

業界だより

会　員　名	異動事項	変更後（新）	変更前（旧）
北札幌電設株式会社	会員代表者 （６月１日付け）	代表取締役社長 疊　　啓介	代表取締役社長 畳　　友祐
エクシオグループ株式会社 北海道支店	会員代表者 （７月１日付け）	執行役員北海道支店長 関井　　悟	執行役員北海道支店長 酒井　浩一
株式会社トーエネック 北海道支社	会員代表者 （７月１日付け）	支社長 工藤　貴浩	支社長 宮内　智也
滝沢電気設備株式会社	会員代表者 （７年４月）	代表取締役 小山　美弥子	代表取締役 小山　輝昭
日比谷総合設備株式会社 北海道支店	住所変更 （７月20日付け）	（新住所） 札幌市中央区大通り西７丁目３－１ エムズ大通ビル４Ｆ	
住友電設株式会社 北海道支店	社名変更 （10月１日付け）	（新社名） セムリンクス株式会社 北海道支店	

理事会・三役会議・委員会報告

理　事　会

◇ **令和８年６月19日㈮**　　**北海道電気会館**

【第２回議題】

（協議事項）

１．令和８年度役員・常設委員会の体制及び事業計画について
２．令和９年度定時総会日程案について
３．令和８年度経営者懇談会・セミナーの開催日程等について
４．高校生向け職業体験イベントへの参加検討について

（報告事項）

１．原油及び原材料価格高騰の影響動向に係る調査対応について
２．2027年度「国際園芸博覧会」への協力依頼について
３．令和８年度安全大会について（開催報告）
４．令和８年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」記念イベントの後援について
５．会員の退会について（北海道電業協会）
６．会員の諸変更について
７．令和８年７月～８月行事予定について

（その他意見交換）

◇ **令和８年８月20日㈭**　　**北海道電気会館**

【第３回議題】

（協議事項）

１．令和８年度北海道の建築工事に係る合同研修会について
２．電業協会の現預金に関する預入方法の見直しについて

（報告事項）

１．電設協本部文挟会長との意見交換会開催要請について
２．令和８年度経営者セミナーの講師について
３．令和８年度職業体験イベントへの対応について

4．令和８年度技術系学校の電気工事会社就職状況調査結果について
5．令和８年度札幌市電気設備施工研修会について
6．会員の諸変更について
7．令和８年９月～10月行事予定について
（その他意見交換）

三役会議

◇ 令和８年６月17日㈬　　北電興業ビル
【第３回議題】
（協議事項）
1．令和８年度役員・常設委員会の体制について
2．令和８年度経営者懇談会・セミナーの開催日程等について
3．令和９年度定時総会日程案について
4．現預金の一部預入方法の変更について
5．令和８年度北海道の建築工事に係る意見交換会について
6．高校生向け職業体験イベントへの参加の検討状況について
（報告事項）
1．2027年度「国際園芸博覧会」への協力依頼について
2．会員の諸変更について
3．令和８年６月～７月行事予定について
（その他意見交換）

◇ 令和８年７月８日㈬　　北電興業ビル
【第４回議題】
（協議事項）
1．令和８年度北海道の建築工事に係る意見交換会について
2．高校生向け職業体験イベントへの今後の対応について
（報告事項）
1．令和８年度経営者セミナーの講師について
2．令和８年度電気・空衛連絡協議会の活動予定について
3．令和８年度技術系学校先生との意見交換会について
4．令和８年度札幌開発建設部電気通信事業に関する意見交換会について
5．㈠社㈡北海道建築士会「札幌大会」への対応について
6．会員の諸変更について
7．令和８年７月～８月行事予定について
（その他意見交換）

◇ 令和８年８月５日㈬　　北海道電気会館
【第５回議題】
（協議事項）
1．令和８年度北海道と合同研修会に係る次第・要望事項等について
2．電設協本部文挟会長との意見交換会の日程調整について
3．現預金に関する預入方針の見直しについて
（報告事項）
1．令和８年度技術系学校の電気工事会社就職状況調査結果について
2．令和８年度札幌市電気設備施工研修会について
3．電設協本部・支部事務連絡会議について
4．会員の諸変更について
5．令和８年８月～９月行事予定について
（その他意見交換）

◇ 令和８年９月９日㈬　　北電興業ビル
【第６回議題】
（協議事項）
1．令和８年度経営者懇談会・セミナーの開催案内等について
2．令和８年度開発局営繕部との意見交換会の対応について
（報告事項）
1．電設協北海道支部企業の新規入会について
2．育児休業・介護休暇に関するアンケート調査結果について
3．令和８年度技術系学校先生との意見交換会について
4．技術系学校生徒の現場見学会について
5．会員の諸変更について
6．令和８年９月～10月行事予定について
（その他意見交換）
1．現預金の預入に関する今後の銀行との対応について
2．建設産業交通安全全道大会について

総務委員会

◇ **令和８年６月11日㈭　　北海道電気会館**

【第１回議題】

１．令和８年度総務委員会の体制（案）について
２．令和８年度総務委員会事業実施計画（案）について
３．令和８年度経営者懇談会の開催について
４．令和８年度技術系学校先生との意見交換会の開催について
５．令和８年度技術系学校生徒の現場見学会の実施について
６．高校生向け職業体験イベントへの参加に向けての今後の対応について
７．令和８年度「建設産業ふれあい展」への参加について
８．その他意見交換

◇ **令和８年９月１日㈫　　北電興業ビル**

【第２回議題】

１．令和８年度北海道との合同研修会の開催概要について
２．令和８年度経営者懇談会の概要について
３．令和８年度開発局営繕部との意見交換会への対応について
４．高校生向け職業体験イベントへの参加内容について
５．令和８年度中学生向け「出張お仕事体験会」への参加について
６．令和８年度技術系学校先生との意見交換会の開催報告について
７．その他意見交換

経営委員会

◇ **令和８年６月25日㈭　　北電興業ビル**

【第１回議題】

１．電設協「本部政策委員会」議事報告について
２．分離発注要請活動実施結果について
３．令和８年度経営委員会の体制（案）について
４．令和８年度経営委員会事業活動計画（案）について
５．令和８年度経営者懇談会およびセミナーについて
６．令和８年度札幌開発建設部電気通信事業に関する意見交換会について
７．育児休業・介護休暇等に関する実態調査（案）について
８．その他意見交換

技術安全委員会

◇ **令和８年６月23日㈫　　北海道電気会館**

【第１回議題】

１．令和８年度技術安全委員会の体制（案）について
２．令和８年度技術・安全衛生基礎教育講習会の開催報告について
３．令和８年度釧根電業協会技術講習会の開催報告について
４．令和８年度安全大会の開催報告について
５．令和８年度電気施設設備見学会の開催報告について
６．令和８年度技術安全委員会事業活動計画（案）について
７．技術系学校先生との意見交換会について
８．技術系学校生徒の現場見学会について
９．安全衛生パトロールの実施について
10．当面の事業活動について
11．その他意見交換

厚生委員会

◇ **令和８年６月４日㈭　　北海道電気会館**

【第１回議題】

１．令和８年度ゴルフ部会会員入会状況と行事日程について
２．令和８年度厚生委員会の体制（案）について
３．令和８年度厚生委員会部会幹事について
４．令和８年度厚生委員会事業活動計画（案）について
５．野球部会の活動予算の執行について
６．今後の事業活動について
７．その他意見交換

事 務 局 日 誌

【6月】

4日㈭ ○ 第1回厚生委員会
○ 令和8年度札幌市安全大会
（北海道電気会館）
8日㈪ ○ 電設協第75回定時総会
（ホテルニューオータニ東京）藪下支部長他
○ 令和8年度電気施設設備見学会
（㈱日建設計北海道オフィス）
9日㈫ ○ 道工組通常総代会懇親会
（札幌ビューホテル大通公園）萩本副会長
10日㈬ ○ 建災防札幌分会全国安全週間説明会
（札幌国際ビル）鎌田専務
11日㈭ ○ 第1回総務委員会
17日㈬ ○ 第3回三役会議
○ 厚生委員会ゴルフ部会第1回幹事会
18日㈭ ○ 電設協本部常任理事会・運営委員会
（本部会議室）藪下支部長
19日㈮ ○ 第2回理事会・常議員会
23日㈫ ○ 第1回技術安全委員会
25日㈭ ○ 第1回経営委員会
○ 北海道建設業労働災害防止大会
（札幌共済ホール）鎌田専務
30日㈫ ○ 厚生行事第1回ゴルフ部会

【7月】

1日㈬ ○ 電気・空衛連絡協議会幹事会
（北電興業ビル）萩本副会長他
6日㈪ ○ 厚生委員会ゴルフ部会第2回幹事会
8日㈬ ○ 第4回三役会議
14日㈫ ○ 第327回本部政策委員会
（本部会議室）今野経営副委員長
○ 厚生行事第2回ゴルフ部会
15日㈬ ○ 室蘭工業高出前授業に係る打合せ
（室蘭電業協会）長内事務局長
17日㈮ ○ 厚生行事第1回ボウリング部会
22日㈬ ○ シーケンス制御の基礎実技講習会
（北海電工ビル）
27日㈪ ○ 令和8年度札幌市電気設備施工研修会
（北海道電気会館）
31日㈮ ○ 電設協本部・支部事務連絡会議
（Web会議）鎌田事務局長

【8月】

4日㈫ ○ 札幌開発建設部との意見交換会
（札建会議室）伏木副会長他
5日㈬ ○ 第5回三役会議
7日㈮ ○ 技術系学校先生との意見交換会
（札幌グランドホテル）
19日㈬ ○ 職業体験イベント協力者説明会
（北海道電気会館）
20日㈭ ○ 第3回理事会・常議員会
○ 技術系学校生徒の現場見学会
（札幌市琴似小学校）
21日㈮ ○ 安全衛生パトロール
（長沼町一体型義務教育学校）
○ 厚生行事第1回歌唱部会
25日㈫ ○ CCUS処遇改善推進連絡協議会
（第一合同庁舎会議室）鎌田専務

【9月】

1日㈫ ○ 第2回総務委員会
○ 札幌市災害時協定伝達・参集訓練
3日㈭ ○ 北海道の建築工事に係る合同研修会
（北海道電気会館）
9日㈬ ○ 第6回三役会議
○ 全国労働衛生週間説明会
（札幌国際ビル）鎌田専務
○ 厚生委員会ゴルフ部会第3回幹事会
10日㈭ ○ 第328回本部政策委員会
今野経営副委員長
11日㈮ ○ 厚生行事野球部会ソフトボール大会
15日㈫ ○ 北海道開発局営繕部意見交換会
（第一合同庁舎会議室）
16日㈬ ○ 第2回技術安全委員会
18日㈮ ○ 電設協本部常任理事会・定例懇談会
（ザ・キャピタルホテル東急）藪下支部長
○ 厚生行事第3回ゴルフ部会
24日㈭～25日㈮
○「地元のシゴト ワク！WORK！」
（札幌市つどーむ）
28日㈪ ○ 第2回経営委員会
29日㈫ ○ 第2回厚生委員会
30日㈬ ○ 第2回広報委員会

編 集 後 記

この度は、会報誌210号の発刊にあたり、北海道建設部建築局長 清水 浩史様より「道有建築物の整備における建築局の取り組み」についてご寄稿いただき、深く御礼申し上げます。

建設業界が直面する担い手不足や働き方改革への対応について、週休２日制の推進、適正な工期設定、遠隔臨場、情報共有システム、建設キャリアアップシステム、AI等のデジタル技術の活用による生産性向上が示されておりました。官民が連携し、若い世代にとって魅力ある産業を形成し、持続的な発展を目指すため私ども、電設業界も施策推進に取り組んでまいります。

国内におきましては、中東情勢の緊迫化など不安定な国際情勢の影響によるエネルギー価格、原材料価格の高騰が続く中、全国的に災害が多発した夏となりました。茨城県南部での地震、熊本で続く地震の影響、千葉県などで「レベル５大雨特別警報」が発表されるほどの記録的な豪雨となり、停電や設備障害が全国で発生し、建築物の安全確認や電気設備の点検など、対応が相次ぎました。

このような地震・豪雨・台風・火山活動が重なる複合災害が続いた８月は、電気設備業界にとって平時の保守管理の重要性と、災害時の迅速な対応力が改めて問われた月になったと感じております。各地で復旧に尽力された会員企業の皆さまに、心より敬意を表します。

最後になりますが、会員の皆様のご健勝と更なるご活躍を祈念し、編集後記とさせていただきます。

広報副委員長　大塚　雅史

広報委員会

担当副会長　萩本　哲夫	委　員　足利　祐典	委　員　坂本　淳	委　員　若宮　昇平
委 員 長　木村　賢史	委　員　有本　純	委　員　嶋田　幸規	オブザーバー　嶋津　博
副委員長　松岡　孝夫	委　員　内田　勝久	委　員　細野　隆平	
副委員長　大塚　雅史	委　員　片平　友樹	委　員　三好　充博	

表紙の花『ライラック』：ライラックカラーとも言われる明るい紫、ピンク、白っぽいものなどがあり、華やかな香りに癒されます。日本のライラックは米国の教師が北海道に持ち込んだものといわれており、札幌では５月にお祭りも催され市の木として親しまれています。

発行　令和8年10月
一般社団法人　北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL（011）271-2932
FAX（011）271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp
URL:https://www.dodengyo.jp/

ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C104445